

小澤洋介、三戸素子、P・ヤング 友の会ニュース



2000年10月30日発行 No.24

秋も深まり、澄んだ冷気を帯びた空気や色彩の鮮やかさが取り巻く季節になりました。8月26日に東京文化会館<クライネス・コンツェルトハウスOp.9>が、「音楽の熱量、春の力、冬の力」をテーマに、モーツァルト、ショスタコーヴィッチ、ドホナーニというコントラストのきいたプログラムで行われました。このシリーズではいつも聴衆の皆様から、メッセージでのご参加をいただいています。会員の井上良さんのご許可を得て、メッセージをここに掲載させていただきます。

「クライネス・コンツェルトハウス」Op.9 を聴いて

友の会会員 井上 良

ショスタコーヴィッチの四重奏8番の演奏はこれで2度目です。独特の緊張感で集中力があっていいですね。実演が効果的な曲ですね。兎小屋（築地）でのコーブランドもとてもよかった。こちらはサンクト・フローリアンでした。20世紀の曲を取り上げてくれて嬉しく思います。さて、初対面のドホナーニですが、どの楽章でも拍手したくなるほどでした！ 拍手&ブラボー！

9月にはハンガリーから、ピアニストのクリスティーナ・ヴェナーさんが17歳の甥御さんを伴って来日。10日岐阜の新しくできたばかりの中学校と、13日伝統ある歌舞伎小屋（！）での趣あるコンサートに出演。そして、14日横浜イギリス館の<モーツァルトOp.10>が締めくくりでした。そのもようを会員の外谷千春さんのお便りでご紹介します。

<クライネス・コンツェルトハウス>にモーツァルト家を偲んで

友の会会員 外谷千春

クリスティーナさんは三戸さんとのデュオのCDを聴いて以来の憧れのピアニスト。9月14日、念願かなって、イギリス館のコンサートに出かけることになり、胸がはずみました。

譜めくり役は彼女の親せきのお子さんということで、少年時代のモーツァルトとお姉さんのナンネルが、仲良く並んで弾いている姿を思わせました。3人の姿は、当時のモーツァルト家をしのばせてくれました。

私はモーツァルトのヴァイオリン・ソナタを聴くのは初めてだったのですが、三曲のどれをとっても素晴らしく

て、彼の豊かな創造力に改めて驚きました。アンコールの「誰も知らないモーツァルト」は彼の6歳の時のヴァイオリンソナタ第1番から第二楽章、可愛らしいモーツァルトの子供時代が目につかびました。

その晩はうれしくて眠れず、翌朝もコンサートの余韻に酔いしれていました。こんな二日酔いならいいものです。季節が秋に変わるときは、なんとなく寂しいものですが、そんな心の透き間を十分すぎるほど、埋めてくれた初秋のコンサートでした。

サンクトフローリアン、アメリカ公演

9月21日カリフォルニアのパサデナ大学と23日アリゾナのアルコ・サンティでサンクトフローリアンの演奏会が行われました。パサデナ大学はフィリップさんが講師を勤めていて、定期的にコンサートがあります。学生はそれを聞くと単位になるそうです。迫力の演奏に学生・先生達はヒューヒュー口笛を鳴らし、盛り上がったそうです。アルコ・サンティは、数年前、この友の会ニュースで紹介したことのある建設中未来都市で、サンクトフローリアンの出演は2度目。こちらも、主催者の国際的建築家P・ソレリ氏をはじめ、聴衆総立ちの大拍手で翌日の新聞にも取り上げられアメリカらしい、オープンな反響だったそうです。

友の会ニュースでは、皆さまのコンサートのご感想や自己紹介、また素朴な質問等の原稿を随時募集しております。

友の会会員ってどんな人？ 会員のご紹介

井上 良さん

5、6年前、阿佐ヶ谷の書店（当時、洋介氏の父上か経営していた）にはられていたコンサートのポスターがきっかけ。NHK-FMで偶然聴いたショスタコーヴィッチのピアノ三重奏曲に衝撃を受け、それ以来、クラシック音楽が友となる。最初は現代作品一辺倒だったが、現代の作曲家も、古典をふまえたうえで創作していることに思いあたり、古典も聴くようになった。来年あたり、「シューベルト」の映画を作った監督の伝記を探しに（日本では手に入らない）オーストリア、ドイツに行ってみようと思っている。「一つのことばかりに夢中になってしまうが、そろそろ少し肩の力を抜いてみようかな、と思っている普通の会社員」とご本人は語っておられる。

10月21日(土)山梨県大泉村にて、友の会ニュースでもおなじみの会員、三井千恵子さんの主催で独奏チェロ一本による「小澤洋介チェロの世界」が行われました。地元の銘酒「谷桜」の蔵元ホールでの趣あるコンサートに、いまだ興奮さめやらぬ晩でしたが、さっそく三井千恵子さんからお便りをいただきました。また、参加なさった会員、田ノ岡宏さんから、三井さんへのお礼のお手紙も届き、心温まる会員の交流のひとつともなりました。

おいで下さった方々へ コンサートを主催して

前略、今日は朝からしっかり雨。昨日の晴天が嘘のようです。遠方からいらして下さった方々も、無事、ご帰宅でしょうか。

昨日の10月21日(土)「小澤洋介チェ

ロの世界」は、ここを八ヶ岳大泉村の大湧水の地下水脈が、谷桜酒造蔵元ホールに直結し、表出して音楽の大吟醸酒と化したように感じ、それを会場の皆様と共有できて幸せでした。小澤洋介氏の作り

友の会八ヶ岳支部 三井千恵子

出す音楽の世界に包まれ、「ホールそのものが楽器となっていた」とおっしゃって下さった方もおられました。

私なりに思いを込めて、大湧水にちなみ「泉の会」として発足したこのコンサートが、皆様そして演奏家にご理解いただけたこと、とてもありがたく思っています。友の会事務局、スタッフ、お手伝い下さった地元の友の会会員の方たち、そしてなにより、会場の提供とご協力下さった谷桜社長をご夫妻に、本当に感謝しています。

ここ八ヶ岳では、8年周期で発生するヤスデ群団が、彼らに絶好の日和の日本はゾロゾロと動き回っています。この雨で秋はいつそう深くなります。皆様もどうぞお元気で。次回お目にかかる日まで、さようなら。

三井千恵子様
この度は本当にすばらしい雰囲気の良い音楽を聞かせていただきまして大変ありがとうございました。
とくに木の弦楽器の音を木づくりの部屋で聴かせていただきますと、今までにどの音楽会でも、レコードでも経験したことのない音の中にあつて、まるで自分な楽器の中に入っているような気分になりました。至福の時でありました。
またホテルのご紹介や送り迎えの手配まで、お心配りをいただきましてありがとうございます。当日空が晴れていて私の大好きな山、八ヶ岳にも会うことができうれしく思いました。おかげさまで豊かな気持ちで帰ってまいりました。
今後ますます同好の志のためにご活躍下さいますようお願い申し上げます。
一月二日
田ノ岡 宏

コンサートのご案内とお知らせ



11月8日～11日 サクト・フローリアン三重奏団

骨髄バンク支援キャンペーンコンサート 埼玉、千葉、東京、福島

- ・トゥリーナ：ピアノ三重奏曲 第2番 作品76
- ・モーツァルト：ピアノ三重奏曲 八長調 KV548
- ・ブラームス：ピアノ三重奏曲 第二番 八長調 作品87

8日 埼玉「パーミン ダイゴウ」 浦和市 18:30開演

9日 千葉「千葉市若葉文化ホール」 千葉市 19:00開演

10日 東京「聖パウロ教会」 目黒区 19:00開演

11日 福島「いわき看護学校大ホール いわき市 18:30開演

お問合せ：全国骨髄バンク推進連絡協議会 TEL.03-3356-8217

12月9日(土) 小澤洋介無伴奏チェロ

NPO瑞浪芸術館会館記念式典にゲスト出演 13:00～

- ・コダーイ：無伴奏チェロ ソナタ 作品8

会場：NPO 瑞浪芸術館 TEL.0572-68-5908

12月16日(土) 小澤洋介無伴奏チェロ

富士吉田市 美術館「ナノリウム」

- ・バツ八無伴奏チェロ組曲 ほか

お問合せ：ナノリウム TEL.0555-24-2938

1月12日(金) 《モーツァルト》シリーズ第11弾

クライネス・コンツェルトハウス《モーツァルト》Op.11

- ・弦楽四重奏曲：イ長調 K464
- ・弦楽四重奏曲：変ホ長調 K428
- ・弦楽四重奏曲：八長調 K465「不協和音」

出演：三戸素子/山田耕司、二宮隆行、小澤洋介

横浜イギリス館 19pm 開演 ￥3,500

お問合せ：ハラヤミュージックエンタープライズ TEL.03-3587-0218

2月6日(火) 東京文化会館室内楽シリーズ

クライネス・コンツェルトハウスOp.10

20世紀の音楽現場 ハンガリーの三人

- ・コダーイ：ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲
- ・バルトーク：「コントラスト」
- ・ドホナーニ：六重奏曲

出演：ピアノ：ラファエル・ゲラ | ヴァイオリン：三戸素子 | ヴィオラ：二宮隆行 |
チェロ：小澤洋介 | クラリネット：山根公男 | ホルン：藤田乙比古

東京文化会館 小ホール 19pm 開演 ￥3,500

お問合せ：ハラヤミュージックエンタープライズ TEL.03-3587-0218

4月9日(月) サクト・フローリアン三重奏団

東京文化会館 ピアノ三重奏リサイタル

- ・シューベルト：ピアノ三重奏曲 第2番 ほか

出演：サクト・フローリアン三重奏団 三戸素子/小澤洋介/フィリップ・ヤング

封筒の宛先の下に数字は会員有効期限年月です。切れている方は同封の振込用紙で、ご継続の手続きをぜひお願い致します。

新規会員を随時募集しております。知人、ご友人の方々に友の会をぜひご紹介下さい。

年会費 一口 1,000円

郵便振替口座 00260-1-13926

加入者名：「友の会 小澤洋介・三戸素子・フィリップ・ヤング」

友の会ニュースでは、会員の皆さまからのお便り、原稿、素朴な質問等、随時お待ちしております。